

OCULISTA

2025年10月

ISSN 2187-5855 文献略称 MB OCULI.

No. 151
2025.10

Monthly Book

OCULISTA

オクリスタ

マイボーム腺 機能不全(MGD)に ご用心!

◆編集企画

伊藤医院副院長

有田玲子

全日本病院出版会

マイボーム腺機能不全(MGD)にご用心！

編集企画／伊藤医院副院長 有田玲子

マイボーム腺機能不全の定義・分類・病態……………天野 史郎 1

分泌減少型 MGD のコアメカニズムは導管上皮の過角化と腺細胞の変化である。それぞれを引き起こす上流の因子には加齢、感染など様々なものが含まれる。

マイボーム腺機能不全の疫学・リスクファクター・有病率……須磨崎さやか 8

MGD の有病率に関して国内外より多数報告があり、様々なリスクファクターが MGD の発症や増悪に関与している。

マイボーム腺機能不全の診断……………川島 素子 14

分泌減少型 MGD の診断は「自覚症状＋開口部閉塞/分泌物異常」の 2 項目で行い、細隙灯顕微鏡のみで診断可能である。マイボグラフィは参考所見として形態評価に有用である。

マイボーム腺機能不全の治療：ホームケア……………海道美奈子 22

MGD の基本的治療はリッドハイジーンと温電法で、両者を組み合わせることにより効果を発揮する。根気よく長期的に行えるよう患者への説明も大事である。

マイボーム腺機能不全の治療：

点眼・抗菌薬内服・マイバム圧出……………白川 理香 29

MGD 治療で推奨される点眼薬はアジスロマイシン点眼、ステロイド点眼で、内服薬はアジスロマイシンである。マイバム圧出はマイボーム腺閉塞を解除し、正常な腺機能へ導く。

マイボーム腺機能不全の治療：IPL・LipiFlow……………松本 玲 36

MGD 診療ガイドラインにて実施を弱く推奨とされた IPL と LipiFlow について、作用機序、機器紹介、施術方法、治療成績を解説する。

マイボーム腺機能不全と眼表面疾患の関係

—疫学・相違点・診断・治療・臨床のポイント—……………有田 玲子 44

MGD は、眼瞼炎・ドライアイ・アレルギー性結膜炎と合併することが多く、見逃さないように診断し、包括的に治療することが、患者の症状・所見改善の肝である。

マイボーム腺炎角結膜上皮症(MRKC)……………鈴木 智 50

弱拡大・拡散光で診察を開始すると、角膜の細胞浸潤や SPK とマイボーム腺炎の関係に気づきやすい。MRKC の治療は起炎菌に対する抗菌薬の選択がキーポイントである。

霰粒腫の切らない治療法……………福岡 詩麻 55

霰粒腫の切らない治療法として、マイボーム腺温存に配慮した温罨法・眼瞼清拭による保存的治療、ステロイド注射、IPL 治療を、患者の病状と要望に合わせて組み合わせる。

子どものマイボーム腺機能不全と VDT……………前原 紘基 63

スマートフォンやパソコン視聴は多くとも 1 日 4 時間以内とし、1 時間以上連続で視聴する際は 1～2 分の休憩、まばたき運動を行うと良い。

- Key words index……………前付 2
- Writers File……………前付 3
- FAX 専用注文書…………… 71
- バックナンバー一覧…………… 73
- MB OCULISTA 次号予告…………… 74

「OCULISTA」とはイタリア語で眼科医を意味します。

前付 5

WRITERS FILE

(50 音順)

天野 史郎
(あまの しろう)



1986年 東京大学卒業
同大学眼科入局
1995年 ハーバード大学、研究員
2002年 東京大学角膜移植部、助教授
2010年 同大学眼科、教授
2021年 お茶の水・井上眼科クリニック、院長

川島 素子
(かわしま もとこ)



1998年 慶應義塾大学卒業
同大学眼科学教室入局
1999年 東京都済生会向島病院・中央病院眼科
2000年 東京都済生会中央病院眼科
2002年 慶應義塾大学眼科、助手
2004年 東京歯科大学市川総合病院眼科、助手
2007年 慶應義塾大学眼科、助教
2010年 同、講師(非常勤)
2012年 同、特任講師
2023年 久喜かわしま眼科、副院長
慶應義塾大学眼科、特任講師(非常勤)

須磨崎さやか
(すまざき さやか)



2016年 東邦大学卒業
同大学医療センター大森病院初期研修
2019年 同病院眼科入局
2023年 東京品川病院眼科
2024年 東邦大学医療センター大森病院眼科

有田 玲子
(ありた れいこ)



1994年 京都府立医科大学卒業
同大学大学院博士課程修了
2002年 慶應義塾大学眼科、助手
2005年 伊藤医院、副院長
2007年 東京大学眼科、臨床研究員
2011年 慶應義塾大学眼科、講師(非常勤)
2012年 Lid and Meibomian Gland Working Group、代表
2021年 日本角膜学会、評議員

白川 理香
(しらかわ りか)



2001年 東京女子医科大学卒業
亀田総合病院、初期研修医
2003年 東京大学医学部附属病院眼科入局
2004年 旭中央病院眼科
2006年 米国ワシントン大学眼科、角膜リサーチフェロー
2008年 さいたま赤十字病院眼科
2010年 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科学
2015年 同大学医学部附属病院眼科、助教
2018年 東都文京病院眼科
2020年 東京大学眼科学教室、非常勤講師

前原 紘基
(まえはら ひろき)



2013年 福島県立医科大学卒業
同大学眼科学講座、専攻医
2020年 東北大学眼科学教室、医員
福島県立医科大学眼科学講座、助手
2024年 同、助教
2025年 東京歯科大学市川総合病院眼科、助教

海道美奈子
(かいどう みなこ)



1991年 産業医科大学卒業
同大学眼科学教室
1995年 東京医科大学市川総合病院眼科学教室
1996年 日立製作所(株)、産業医
1998年 和田眼科医院
2004年 慶應義塾大学眼科学教室、非常勤医師
2012年 同大学大学院医学研究科修了、博士号取得
同大学眼科学教室、非常勤講師
2015年 和田眼科医院、副院長

鈴木 智
(すずき とも)



1994年 京都府立医科大学卒業
京都府立与路の海病院、医員
1996年 京都府立医科大学大学院医学研究科修了
2000年 米国ハーバード大学眼科、研究員(5年間)
2005年 京都市立病院、眼科医長
2011年 同、眼科副部長
京都府立医科大学、眼科客員講師
2020年 京都市立病院、眼科部長
2021年 京都府立医科大学、眼科臨床教授

松本 玲
(まつもと れい)



1990年 宮崎医科大学(現、宮崎大学)卒業
京都大学眼科入局
1991年 神戸通信病院眼科
1994年 兵庫県立塚口病院眼科
2007年 医療法人社団医新会
2008年 同法人レイククリニック、院長

福岡 詩麻
(ふくおか しま)



2003年 東京大学卒業
同大学医学部附属病院、内科研修医
2004年 同大学眼科入局
2005年 同大学眼科、医員
2009年 米国マウントサイナイ医科大学留学
米国ワイル・コーネル医科大学留学
2011年 東京共済病院眼科、医員
2016年 大宮はまだ眼科西口分院、院長
2024年 Lid and Meibomian Gland Working Group、副代表